

令和元年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元年 6月 11日

学 長 殿

所属部局・職名 経済経営学類・准教授

申 請 者 名 荒 知 宏

助成事業の区分	<p>いずれかにチェックしてください</p> <p>研究協力に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/>学会参加)</p> <p>学術振興に関する事業 (<input type="checkbox"/>学生 <input type="checkbox"/>事務職員)</p>
事業名	Midwest International Trade Conference (海外)
事業実施期間	令和元年 5月 ~ 令和元年 6月
成果の概要	<p>5月31日から6月2日にかけて、アメリカのインディアナ大学で開催された Midwest International Trade Conference に参加して、私の研究論文”Complementarity between Firm Exporting and Firm Importing on Industry Productivity and Welfare”を報告した。この学会は、私の専門である国際経済学の分野においては、アメリカで開催される学会のうちで最も大きなものであり、当日は50名近い研究者がアメリカだけではなく、世界中から集まってそれぞれの研究報告を行った。</p> <p>私の報告時間は、3日間開催された学会のうち最後であったのにも関わらず、20人近い参加者が集まり、私の研究内容を紹介することができた。研究報告後には、私の研究に興味のある参加者からいくつかのコメントを頂戴し、有意義な学会参加となった。私の研究報告以外にも、他の研究者が報告したセッションに参加し、アメリカを中心として行われている最新の研究報告を聞くことができ、今後の研究に役立てるヒントを得ることができた。また、私は3日目の午前中のセッションの議長に割り当てられていたため、各報告がスムーズにいくように調整するとともに、報告の後に活発な議論がなされるように促すように心がけた。なお、この学会のプログラムを始め、詳しい情報は下記のウェブサイトから確認することができる。</p> <p>https://economics.indiana.edu/news-events/midwest-</p>

economics-meetings/index.html

最後になったが、学術振興基金の助成により海外で報告する機会をサポートしていただいたことに対して、心より感謝申し上げたい。